

新型コロナウイルスの影響下におけるチーム遵守事項(ガイドライン)

一般財団法人福島県サッカー協会
相双サッカー協会 キッズ委員会

I. 通常活動時の感染防止策について

チーム代表者は、選手、スタッフ等の健康状況を把握したうえで、活動を行う。

- ① 以下の事項に該当する場合は活動を見合わせる
 - 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 参加者全員がマスクを着用すること。（練習中、ウォーミングアップ中は除く。）
- ③ 活動場所での感染を防ぐ対策を講ずること。（3つの密にならないようにすることや手洗い等）

II. 大会参加時の感染防止策について

1. 移動時の対応

出発時に選手及びスタッフに、検温結果（各自、朝に検温すること）と上記 I の①を確認し、該当する場合は、参加させないこと。それに基づき健康チェックリストを作成すること。
可能な限り、小グループでの移動を心掛け、移動中は、マスク着用、換気等の対策を行うこと。

2. 会場における感染防止対策

参加チームは、運営責任者にMCMの際、健康チェックリストを2部提出(本部用・施設用)すること。
また、試合の際は、下記事項を遵守すること。

- 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- 円陣はしない
- 倒れた選手に手を貸さない
- 得点時にハイタッチ、抱擁を行わない
- ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない
- 口に含んだ水を吐かない
- ボトルを共有しない（飲水については、各自個人ごと準備すること）
- 水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない
- タオルを共有しない
- ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- ベンチではマスクを着用し、会話を控える
- ゴミは、チームで管理し、収集、処分すること。その際、マスクや手袋を必ず着用すること。
- ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄すること。マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること。
- 酷暑時のマスクは熱中症のリスクが高くなるおそれがあるため、屋外で人と十分な距離（少なくとも 2 m 以上）が確保できるときは、マスクを外すようにすること。

3. 事後対応

- ① 健康管理表（チェックシート）の1ヶ月保管
- ② 競技会終了後3日以内のチーム状況確認
- ③ 万が一競技会終了後14日以内に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、**相双サッカー協会 (キッズ委員長 加藤伸也 090-1494-9990)に報告すること。**

